



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 アイティフォー

上場取引所 東

コード番号 4743 URL <https://www.itfor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐藤 恒徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 中山 かつお

TEL 03-5275-7841

四半期報告書提出予定日 2021年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,004	9.9	1,280	46.7	1,380	43.2	992	50.9
2020年3月期第3四半期	10,013	27.9	872	18.7	964	19.4	657	22.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,184百万円 (74.1%) 2020年3月期第3四半期 680百万円 (92.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	36.30	36.14
2020年3月期第3四半期	23.96	23.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	16,724	13,231	78.9	481.12
2020年3月期	16,294	12,564	76.8	458.83

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 13,193百万円 2020年3月期 12,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		23.00	23.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期配当金の内訳 普通配当21円00銭 記念配当2円00銭(株式上場20周年記念配当)

当社は、従来より、連結配当性向30%以上を目処に、期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。今後ともこの配当方針に基づく配当を実施している予定ですので、期末配当金および年間配当金の記載を「-」と表記しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,800	3.7	1,850	7.0	1,930	4.9	1,300	5.5	47.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	29,430,000 株	2020年3月期	29,430,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	2,007,104 株	2020年3月期	2,147,359 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	27,329,749 株	2020年3月期3Q	27,428,943 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症流行後の大幅な落ち込みから持ち直しの傾向があるものの、新型コロナウイルスの収束が見えない中、経済活動の回復ペースは緩やかにとどまっております。内需についても、個人消費は新型コロナウイルスの感染再拡大による自粛ムードが下押しに作用し、失業率の上昇など雇用・所得環境の悪化により景気の下振れ懸念があります。

当社グループを取り巻く国内ITサービス業界におきましては、AIやIoTなどのデジタルトランスフォーメーションに関連するシステム投資、「非接触」や「非対面」を実現するデジタル化など、企業のIT投資意欲は高いものの、その一方で、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、企業の業績悪化や景気回復ペースの鈍化などによる投資計画の見直しについて注視していく必要があります。

このような状況の中、当社グループは、主力パッケージである個人ローン業務支援システム「SCOPE」など金融機関向けシステムを中心とした好調な販売により受注高が伸長、さらに前期末時点での高水準な受注残が売上に寄与したことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は、11,004百万円（前年同期比109.9%）、営業利益は1,280百万円（前年同期比146.7%）、経常利益は1,380百万円（前年同期比143.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は992百万円（前年同期比150.9%）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における営業活動においては、受注高が13,211百万円（前年同期比111.8%）、受注残は15,092百万円（前年同期比108.1%）と前年同期を上回って推移しております。

なお、報告セグメント別の営業概況は次のとおりです。

(システムソリューション)

システムソリューションでは、金融機関において、コロナ禍の影響を受け業務の非対面化需要が一段と高まっており、主力の個人ローン業務支援システム「SCOPE」に加え、電子契約機能を実装したローンWeb受付システム「WELCOME」や個人信用情報照会システム「MICS2.0」の受注が好調に推移しております。また、既存顧客の大型システム更改への着実な対応、前期末受注残からの確実な納入等により前年同期に対し増収となりました。

公共向けシステムでは、学校給食費の公会計化への移行に備えた給食費管理システムの新規受注や中核市から滞納管理システムの新たな受注を獲得するなど、計画通りに推移しております。売上につきましても前期末までの受注残が売上に寄与し、前年同期に対し大幅な増収となりました。

小売業向けシステムでは、化粧品専門店でPOSソリューション「RITS-DX」が稼働し、売上に貢献しました。一方、百貨店や専門店など店舗向けのシステムやコールセンター向けの一部案件においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、受注の遅延や開発が延伸するなどの影響を受けております。

その結果、受注高は6,927百万円（前年同期比110.0%）、売上高は5,936百万円（前年同期比103.5%）、セグメント利益は1,489百万円（前年同期比146.9%）となりました。

(サービスソリューション)

サービスソリューションでは、公共分野向けBPO（業務委託）サービスにおいて、既存先の更改に加え県庁からの初受注、中核市から大型受注を獲得するなど好調に推移しており、前年同期に対し大幅な増収となっております。

一方、調査業務専門の連結子会社において、新型コロナウイルス感染症の影響により、主要顧客からの一部業務の受託が一時的に休止、延期になるなどの影響を受けております。2020年7月以降、徐々に受注は回復してきておりましたが、感染の再拡大により先行き不透明な状況が続いており、コロナ前の水準まで改善するには時間を要する見込みです。

その結果、受注高は3,727百万円（前年同期比124.6%）、売上高は2,711百万円（前年同期比109.8%）、セグメント利益は312百万円（前年同期比80.4%）となりました。

(基盤ソリューション)

基盤ソリューションでは、キャッシュレス決済やマルチペイメントの利用が拡大する一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と自粛の影響等により決済端末の主な導入先である加盟店では厳しい状況が続いている中、地方銀行が新たに取り組む決済サービスへの連携開発を受注するなど好調を維持しております。また、前期末までの受注残が売上に寄与しました。

その結果、受注高は2,556百万円（前年同期比101.0%）、売上高は2,356百万円（前年同期比130.5%）、セグメント利益は533百万円（前年同期比132.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は16,724百万円となり、前連結会計年度末に比べて430百万円増加いたしました。流動資産は12,978百万円となり、128百万円増加いたしました。主な原因は、受取手形及び売掛金が1,246百万円、現金及び預金が101百万円減少しましたが、有価証券が1,000百万円、たな卸資産が394百万円増加したことなどです。固定資産は3,746百万円となり、301百万円増加いたしました。主な原因は、投資有価証券が330百万円増加したことなどです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は3,493百万円となり、前連結会計年度末に比べて237百万円減少いたしました。流動負債は3,237百万円となり、221百万円減少いたしました。主な原因は、買掛金が324百万円、賞与引当金が189百万円、未払法人税等が115百万円減少したことなどです。固定負債は255百万円となり、15百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は13,231百万円となり、前連結会計年度末に比べて667百万円増加いたしました。主な原因は、剰余金の配当の支払により627百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により992百万円、その他有価証券評価差額金の増加により193百万円増加したことなどです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の76.8%から78.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での当連結会計年度（2021年3月期）の業績見通しにつきましては、2020年10月21日に発表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、業績予想は公表時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があるほか、予想事態についても今後変更となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,250,367	3,148,928
受取手形及び売掛金	2,923,985	1,677,457
有価証券	5,599,807	6,599,908
たな卸資産	890,040	1,284,274
その他	185,188	267,686
貸倒引当金	△88	△21
流動資産合計	12,849,301	12,978,234
固定資産		
有形固定資産	674,290	642,968
無形固定資産		
のれん	223,997	183,392
その他	374,637	415,827
無形固定資産合計	598,635	599,220
投資その他の資産		
投資有価証券	1,401,956	1,731,999
その他	770,408	772,439
投資その他の資産合計	2,172,365	2,504,438
固定資産合計	3,445,291	3,746,627
資産合計	16,294,592	16,724,861

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,461,266	1,137,068
未払法人税等	293,601	178,038
賞与引当金	352,706	163,704
その他	1,351,712	1,758,877
流動負債合計	3,459,287	3,237,689
固定負債		
役員退職慰労引当金	28,286	8,066
退職給付に係る負債	203,331	208,532
その他	39,433	39,023
固定負債合計	271,051	255,622
負債合計	3,730,338	3,493,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,124,669	1,124,669
資本剰余金	1,339,961	1,345,862
利益剰余金	11,398,069	11,777,612
自己株式	△1,463,824	△1,368,049
株主資本合計	12,398,875	12,880,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122,581	315,966
繰延ヘッジ損益	189	△55
退職給付に係る調整累計額	△3,463	△2,263
その他の包括利益累計額合計	119,308	313,647
新株予約権	34,480	28,291
非支配株主持分	11,589	9,517
純資産合計	12,564,253	13,231,550
負債純資産合計	16,294,592	16,724,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	10,013,098	11,004,952
売上原価	6,857,527	7,373,792
売上総利益	3,155,571	3,631,160
販売費及び一般管理費	2,283,180	2,351,074
営業利益	872,391	1,280,085
営業外収益		
受取利息	3,245	3,901
受取配当金	54,191	49,480
持分法による投資利益	15,314	16,841
その他	26,891	41,326
営業外収益合計	99,644	111,550
営業外費用		
投資有価証券評価損	—	357
支払手数料	4,950	4,017
会員権評価損	—	4,800
その他	3,049	2,391
営業外費用合計	8,000	11,565
経常利益	964,034	1,380,069
特別利益		
関係会社株式売却益	—	23,515
新株予約権戻入益	80	5,232
特別利益合計	80	28,747
税金等調整前四半期純利益	964,114	1,408,817
法人税等	308,874	418,861
四半期純利益	655,240	989,956
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,093	△2,071
親会社株主に帰属する四半期純利益	657,334	992,027

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	655,240	989,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,898	193,308
繰延ヘッジ損益	△91	△244
退職給付に係る調整額	1,004	1,199
持分法適用会社に対する持分相当額	3	76
その他の包括利益合計	24,813	194,339
四半期包括利益	680,054	1,184,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	682,148	1,186,366
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,093	△2,071

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービスのビジネス特性を基礎としたセグメントから構成されており、「システムソリューション」、「サービスソリューション」、「基盤ソリューション」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「システムソリューション」は、主にパッケージソフトウェアに関する設計・開発から保守までの一貫したサービスを提供しております。

「サービスソリューション」は、主にカスタマーサービス、電話・訪問催告や窓口支援を行うBPOサービスを提供しております。

「基盤ソリューション」は、主にシステム機器販売、システム基盤インフラ設計・構築・納入・設置、ネットワークシステムソリューションを提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	システム ソリューショ ン	サービス ソリューショ ン	基盤 ソリューショ ン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,738,211	2,469,118	1,805,768	10,013,098	—	10,013,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,398	—	5,127	21,526	△21,526	—
計	5,754,610	2,469,118	1,810,895	10,034,625	△21,526	10,013,098
セグメント利益	1,014,186	388,311	402,237	1,804,736	△932,345	872,391

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△932,345千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	システム ソリューショ ン	サービス ソリューショ ン	基盤 ソリューショ ン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,936,965	2,711,768	2,356,218	11,004,952	—	11,004,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,391	—	22,260	35,652	△35,652	—
計	5,950,357	2,711,768	2,378,479	11,040,605	△35,652	11,004,952
セグメント利益	1,489,958	312,244	533,354	2,335,558	△1,055,472	1,280,085

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△1,055,472千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。